

INSPIRE No.34



ギフティッドサポートグループミーティング

テーマ:「ギフティッド101 - ギフティッドの基礎知識。最新のアメリカのギフティッド事情」
皆さんはギフティッドという言葉聞いた事がありますか。

米国では「生徒、児童、若者に対してギフティッドおよびタレンティッドという言葉が用いられた場合、知性、創造性、芸術、リーダーシップ、あるいは特定の学術分野において高い潜在能力を示し、また、そうした能力をフルに開発するには通常の学校教育にはない支援や活動を必要とする子供、生徒、若者を意味します。」という定義を用い、ギフティッドの生徒たちは必要な教育を受けています。しかし、欧米に比べて、日本ではまだギフティッドの概念が薄く、ギフティッドの子供達を対象に、それぞれの子供が持つ才能を開花させるプログラムや教育機関はまだ多くはありません。同時に、ギフティッドの子供達とその保護者が必要な感情面や教育面でのサポートも少ないです。ギフティッドについて知りたい方、是非ご参加ください。

日時: 11月18日 (土)

時間: 9:00 - 12:00

費用: 1,000円

対象者: 保護者、教育関係者、医療関係者

場所: スクエア荏原の第3小会議室

住所: 東京都品川区荏原4-5-28 (武蔵小山駅徒歩10分)

お申し込み: office@jagifted.org

是非ご参加くださいませ！

脳族

最近私に舞い降りてきた造語ですが、ギフトッド親子を「脳族」と勝手に命名させていただきました！血族とは、血がつながっている人のことをいいます。姻族とは、配偶者の血族のことをいいます。以下の血族や姻族が「親族」ということになります。

では、脳族とは？脳の仕組みが同じ人たちのことをいいます。特にギフトッド脳を持つ子供とその父母を脳族と言いたいのです。それゆえに、ギフトッド親子であれば、他人であったとしても血より濃く深いつながりのあるお仲間で脳族ということになります。

親族は、たとえ容姿や嗜好が似ていても、脳の仕組みが違えば、全く共感はしてくれませんよね？2親等の祖父母でさえも、子育て方法やしつけが悪いとバッシングしかねません。さらに、年配者にはギフトッドは複雑すぎて、理解不能でフリーズしてしまいます。

しかし、脳族ならば、たとえ容姿や嗜好が違っていても、脳の仕組みが同じならば、共感出来ること間違いなしです。ギフトッドの子育ては、孤独になりがちで近い親族でさえも理解してもらえないのであれば、親族よりも同じ脳族であるギフトッドママと繋がったほうが、子育てヒントや成長過程や情報交換で、お互いの学びあい、高めあい、しいてはギフトッドである我が子だけでなく、ギフトッドのよその子も相乗効果で、よりよい子育てに結び付くのではないのでしょうか？

親族・地域・学校・クラブ・習い事等、これらのコミュニティよりもさらに強い結びつき、それが我が「脳族」なんです！

年間プログラム・デイアフタースクール・ホームスクール・キャンプ・ミーティング・講座・カンファレンス等、ギフトッドに関するあらゆるメニューを選択すると、もれなく脳族と繋がることが可能です。他人なのに、まるできょうだいや双子のように脳がソックリなママや子供たち、こちらで知り会えた脳族のおかげで、私は本当に救われました。

お仲間である脳族のみなさん！今これを読んでいるお母様、どちらに潜伏しているのでしょうか？ネットの情報でこちらのHPにたどり着いたのならば、ネットの住民だけで満足せずに、来年こそ一歩前に前に踏み出してみませんか？

こちらで同じ脳族と一緒に、親子で笑顔になりませんか？ - M.I.

Plan Aがダメだったら、Plan B. 残りのアルファベットはまだあります。

日頃、子供達はどんなお手伝いをしていますか。私は小学生の時、朝、学校に行く前に、リビングルームと廊下と階段を掃除機かけて学校に行っていました。特にお駄賃ありませんし、母に「みんなやっているから」と言われただけでした。母に「みんなやっているから」というフレーズで洗脳された私は特に周りがどんなお手伝いをしているかというのにも気にならず、掃除機をかけているかも友人たちに確かめませんでした。だって、「みんなやっているから」。しかし、1年も経った頃、一人の子が登校班に遅れてきました。「掃除機かけて遅れた？」って聞いたら、「トイレに入ってた」という答えが。そこで、掃除機の話になり、「みんなやっていない」ことが判明しました。その日はずっと母に激怒していた事を覚えています。母が言う「みんなやっているから」というのはお手伝いだったらしいのですが、私はみんな掃除機をかけていると思っていたのです。

子供の頃、お手伝いの中でもテンションが上がるのは、おつかいですよね。たまに硬貨ではなく、札を持てる事ができます。子供にとってはたまりません。おつかいは子供にとって大きな責任です。そして、一人の場合は不安と戦わなくてはなりません。そして、自分の物欲と戦わなくてはなりません。みなさんの子供はおつかいに行っていますか。子供たちはおつかいでどんな事を学ぶことができ、エクセサイズできるでしょうか。子供に渡すものは何でしょうか。買ってくるアイテムのメモとお金がだけでしょうか。

NGなリアクション

買ってきたアイテムを見て、「あーこれじゃなかった」と言う。「見つからなかった」という言葉に「お店の人に聞いた？」と言う。「置いてなかった」という言葉に「隣のスーパーは？」と言う。「売り切れてた」という言葉に、「ちゃんと見たの？」と言う。

Directionという言葉を知っていますか。Discretionという言葉を知っていますか。よく見てください。この2つの単語は似ていますが、違う単語です。Directionは「指示」という意味があり、Discretionは「裁量」という意味があります。

子供が買い物に行くとき、持っていくものは「指示」だけではなく、この「裁量」も一緒に持っていく事が大切です。自分で決めることができる裁量権ですよね。例えば、「もっと想像力を働かせて」と思ってしまうかもしれませんが、そもそも、子供が裁量権を持っていると感じないと、問題解決もしませんし、そこで想像力も働かせないでしょう。裁量権があると、もしかしたら、代用できるものを考えて買ってくるかもしれません。もしかして、色々な人に聞いて問題を解決するかもしれません。そして、裁量権を行使した時、子供が持って帰るものは購入したアイテムだけではありません。「もしかしたら、喜んでくれるんじゃないかな。びっくりするかも」というドキドキした気持ち、「やった」という達成感の気持ち、「自分はさすがだな」というエンパワーメントを持って帰ってきます。本当におつかいって奥が深いですね。ー 今瀬



Plan Aがダメだったら、Plan B. 残りのアルファベットはまだあります。